



美しいってなんだろう？

矢萩多聞・つた

—青窈さん、
松村圭一郎さん推薦

魚の骨、道ばたの石、焼けた画集……
あらゆるものは美しさを隠しもっている。
じっと見つめ、耳をすまし、デザインすれば、
いのちがやどる。装丁家と小学生の娘が交わした、
世界のひみつを探る13の対話。

◆矢萩多聞（やはぎ・たもん）

画家・装丁家。1980年横浜生まれ。9歳から毎年インド・ネパールを旅し、
中学1年で学校を辞め、ペン画を描きはじめる。1995年から南インドと日本を半
年ごとに往復、横浜や東京で展覧会を開催。
2002年、『インド・まるごと多聞典』（春風社）の出版をきっかけにして本のデ
ザインにかかわるようになり、これまでに600冊を超える本を手がける。

◆つた

「あきちの学校」メンバー。最近ハマっていることは、新聞づくりと落語。
すきな作家は春風亭一之輔。映画「男はつらいよ」は三歳のときから観ていて、
いつの日か車寅次郎と再会することを夢見ている。

【本文より】


美しいものは、ときにはみにくく、ざんこくである。……身近なところに隠れているのに、
手をのぼせばけむりのように消えてしまう。ことばにしたとたんに、
まったくちがうものに変わりはてる。
いま、ぼくは、流れゆく雲のようにあてもないものを書こうとしている。
それでも、忘れえぬ美しい光景をあらためて書きとめ、
娘とともに「美しいってなんだろう」ということを考えてみたい。

■トーハン、日販、楽天ブックスネットワーク、子どもの文化普及協会 経由にてお送りいたします。
トーハン、日販、楽天ブックスネットワークの場合、返品はフリーでお受けいたします。（了解者：朝加）



【目次】

| | |
|--------|------|
| はじめ | 墓 |
| カトマンドゥ | 文字 |
| 川 | 石 |
| 壁 | 人 |
| 皿 | 火 |
| 庭 | 歌 |
| 果実 | ことば |
| | あとがき |

| | | |
|---|-------|--|
| 『美しいってなんだろう？』 矢萩多聞・つた 著 定価 1,980円（10%税込）2022年5月刊行 四六変形・並製/256頁 ISBN978-4-7907-1771-3 | | ご注文冊数 冊 |
| お名前 | お電話番号 | 書店印 |
| ご住所〒 | | |
|  世界思想社 | | 〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56 電話：075-721-6500 FAX：075-721-8707 |